

訃報

去る 2000 年 1 月、当会賛助会員の吉本浩和先生が、逝去されました。先生は『哲学論叢』に、「空間と存在」(第 17 号)、「ハイデガーにおける『形而上学の克服』」(第 19 号)を執筆され、その後 1995 年より当会に御援助を賜っておりました。先生のこれまでの御支援に厚く御礼申し上げますと共に、謹んで先生の御冥福をお祈り致します。

## 編集後記

諸先生方、諸先輩方の御指導、御支援を賜わり、今年も『哲学論叢』の発行にこぎつけることができました。本号には比較的多くの論文が寄せられ、論じられている問題も多岐に渡ります。また、昨年夏までの約一年間、イタリアのピサ大学に留学なさっていた福谷茂先生には、現在のイタリア哲学界とそれを取り巻く状況について、エッセイを寄せていただきました。哲学がイタリア社会に確固たる地盤を築きあげている様子は、「伝統」の強さというものを感じさせると共に、学界人がそれだけに安住しているわけでは決してないということも窺えます。大学や社会における哲学の存在意義が問われている我々の足元を、改めて見つめさせられます。